

2 1

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

目次

巻頭文 ----- 1

コロナウィルス禍に向き合う
同窓会長 佐々木元彦

コロナ禍の新年度 ----- 2
18 代校長 三好博輝

熱田高校の今 ----- 2

進路報告と今後の展望
進路指導主事 寺村祐耶

生徒の声 ----- 3

学校という場の特異性
67 回生・2 年生徒会長 岡本怜子
定時制課程の今
教頭 渡辺喜長

がんばれ熱校生 ----- 4

母校のような熱田高校
元教諭 大竹由紀子
コロナの時代の人間力
18 回生 渡辺宜嗣
同窓生の皆様に感謝
19 回生 木村隆秀
絵日記、今までとこれからと
11 回生 田中和枝
(旧姓 竹内)

同期会だより ----- 7

毎年開催について
14 回生 福島義広
還暦を迎えて
23 回生 青木宏憲

事務局だより ----- 8

教職員の異動
会計報告
役員一覧
あとがき



令和 2 年 4 月 6 日 入学式 正門

コロナウィルス禍に向き合う

同窓会長 佐々木元彦



熱田高校 65 回生の皆さん、卒業おめでとうございます。入学された 68 回生の皆さんおめでとうございます。心から祝福申し上げます。

今年、コロナウィルス感染症のために大きな制約がかかるなかでの卒業式・入学式となり、深く印象に残るものになりました。

コロナ感染症は、瞬く間に世界中を駆け巡り、感染者は 6 月 23 日現在、九百万人を越え、47 万人以上の死者を出しています。現在も私達はコロナとの戦いの場にあります。国は、特別措置法に基づく緊急事態を宣言し、学校は休校、外出や仕

事さえままたまらない状態が続きました。

同窓会は、熱田高校創立 70 周年記念事業として、『運動場の人工芝化』を長年にわたり計画してきました。今までも同窓会のホームページを通じて、皆様にお知らせしてきたとおりです。

『運動場の人工芝化』には、1 億円がかかります。大変大きな事業です。同窓生 2 万 7 千人の皆様にご協力ご尽力いただき、熱田高校同窓生の総力をもって実現にむけ、寄附金の協力をお願いするしだいです。



コロナ禍の新年度

18 代校長 三好 博輝



同窓会の皆様方には日頃からのご支援に心から感謝申し上げます。

さて、令和 2 年 4 月 6 日、正門の桜が咲き誇る中、全日制新入生 319 名、定時制新入生 31 名を新たに迎へ入学式を挙行し、新年度が始まるばかりの状況でした。ところが、新型コロナウイルスの関係で、学校現場は、これまでに経験したこともない事態となりました。生徒たちは、入学式の翌日から始業式を実施することなく、休校を余儀なくされ、職員も在宅勤務となり、ひと気のない校舎・校庭には、チャイムの音が毎日寂しく響き渡っています。

そのような状況下で、時は刻々と過ぎていき、生徒たちの学びの保障や進路指導、心身の健康面等が課題となつていきます。そこで、これを機に熱田高校では、昨年度から導入を画策していたロイノートスクール（パソコンやスマホを使って課題などを教員と生徒が双方向でやり取りをしたり、生徒同士で意見を交換したり共有したりできるソフト）を試験的に導入することにしました。オ

ンライン授業とまではいきませんが、とりあえずは文字情報のやり取りを進めており、課題を与えたままの状態ではなく、添削をして返却をしたり、健康面のチェックをしたり、曲がりなりに担任と生徒がつながっている状況に安堵を覚えます。

これを書いていく時点では、学校再開が 6 月 1 日となります。行事の精選（遠足・球技大会・文化祭は中止）や夏休みの縮小などいろいろ工夫をする必要があり、コロナ前のような学校活動をするにはまだまだ厳しい状況ですが、早く校内に生徒の明るく元気な声が響き渡ることを願っています。

最後になりましたが、同窓会長佐々木元彦様、同窓会役員の皆様方には、これまでと同様、本校の教育活動へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。また、グラウンドの人工芝化に向けてもご尽力いただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。熱田高校がコロナ後に再び元気を取り戻し、地域から愛される魅力ある学校となるための取り組みの一つであると考えております。何卒よろしくお取り計らいお願いいたします。

令和 2 年 5 月 吉日

熱田高校の今

進路状況の報告と今後の展望

進路指導主事 寺村 祐耶

令和元年度の進路状況について



入試結果については別表のとおり、一昨年度と比較して国公立大学合格者が減少しました。また、浪人の人数

も減少しています。これは昨年度入試の全体の雰囲気や安全志向で動いたことが要因であると考えています。私立大学の入試の難易度が年々上がっており、合格が難しいことから、A O 入試や推薦入試で早々に進路先を決めてしまう生徒が多く見られました。さらに、昨年度は入試制度が大きく変更される前年の入試であり、より安全志向が高まりました。しかし、そんな中でも最後まで粘り強く目標に向かって頑張り抜く生徒は少なからずおり、クラスの中で受験に立ち向かう良い雰囲気を作ってくれました。

令和 2 年度の進路指導について

今年度はセンター試験が廃止され、新しく大学入試共通テストに切り替わる最初の年となります。昨年ニュースで話題になったように、英語外

部試験や共通テストでの記述問題の導入が急遽取りやめになった事で、今年の 3 年生はさんざん振り回されてきました。さらに追い打ちをかけるようにコロナ禍によって先の見えない不安な受験のスタートとなってしまいました。共通テストはマーク式の試験であることに変わりありませんが、より思考力や読解力が試される出題内容に変化していきます。どのような形になっても対応できるだけの確かな学力をつけさせるとともに、生徒一人ひとりへのきめ細やかなサポートを進路指導部と学年団で協力して行っていききたいと思います。

過去 3 年間の卒業生の進路別実数

	4 年制大学		大学校	短期大学	専門学校	就職		家事従事	その他	浪人	合計
	国公立	私立				公務員	一般企業				
R1	19	231	0	11	30	2	1	0	2	20	316
30	23	232	0	10	19	2	0	0	3	27	316
29	28	208	0	8	25	1	1	0	4	42	317

過去 3 年間の地元主要大学の合格者数

年度	南山	愛知	名城	中京	愛知学院	愛知工業	中部	愛知淑徳	金城学院	福山
R1	38	54	69	68	50	45	41	54	16	25
30	15	34	49	80	64	30	40	63	12	19
29	33	64	55	74	61	41	43	29	5	12

学校と言う場の特異性

2年 岡本怜子(生徒会長)



3 学期最後のテストが終わり、私達はそれぞれが帰宅、自宅での一つの事を知らさ

れました。それは

瞬く間に SNS を通じて大騒ぎになりました。LINE では、「この学年終わり？」「球技大会は！」その他の SNS では、「今学期終わるらしい！」

「どういうこと？」など、真偽を問う声や残り期間を憂声で混乱してました。たった一つのニュースレポート『緊急全国の公立学校、一斉休校へ』その画面だけで大変な騒ぎになったことを鮮明に覚えています。

突然の休校が決り、教材を持ちかえるための登校日。たった一つの決定で残りの時間を奪われた私達は現状を飲み込むことで精一杯でした。多少の悔しさが渦巻く中で、休校が始まりました。

いざ休校が始まると、長期休業とは異なる点がいくつも見つかりました。まず、外出して遊ぶことができません。次に、本来あったはずの授業がおこなわれないことへの不安感。家族と過ごす時間の圧倒的な多さ。

私自身は、家に居ることへの抵抗心はありませんでした。この休校時間でしつかり自分の家族と向き合った

ことに、私は喜ばしさを感しました。長い期間友人と会えず、学校という場で約束なく、無条件で集まり、友人と遊び、何気ない会話をすることの幸せを深く理解しました。

そんな中、休校が終わり学校が始まりました。クラス替えをした状態で始まった久しぶりの学校では、コロナ対策の為、出席番号ごとに分散

登校。すぐ、通常授業が始まり、クラスが全員集まり、教室に生徒が詰まった状態の授業は、少し懐かしく、昨年度を最後までやりたかったな、と言う淋しさも感じました。コロナ対策は続き、一定方向を向かって食べる。会話の無い昼食。味気なさに

溢れ、新型コロナウイルスに対して憎悪を抱きました。いま、世界で新型コロナウイルスの終息に向け、動いています。企業・学校ではリモート化が進み、新しい生活スタイルの形成が進んでいます。

今まではきっと学校生活が変わっていくかもしれません。今までは違っていたても、早くにぎやかで楽しい行事で生活が送れるようになって欲しいものです。

今まではきっと学校生活が変わっていくかもしれません。今までは違っていたても、早くにぎやかで楽しい行事で生活が送れるようになって欲しいものです。

定時制課程の今

教頭 渡辺喜長



令和 2 年 3 月から続いていた臨時休校も段階的に解除になり、校舎

に生徒の声が響く ようになってきました。当たり前の光景に、あらためて感謝の気持ちや安心を感じます。

令和元年度のご報告をします。平成 31 年 4 月に新入生 32 名を迎え、

令和 2 年 3 月に 25 名の卒業生を送り出しました。特に今年の卒業生は、この 1 年、誰一人やめることなく、例年以上に進学・就職をしてくれました。教頭の私にも仲良くしてくれました。人懐っこい学年だったので、各地の卒業式が中止になる中、コロナ感染拡大を心配しながらも、立派な卒業式を迎えられたのは感慨深いものでした。

6 月の球技大会も学年を超えてバレーボールで盛り上がっていました。最後にはスライドショーなども取り入れ工夫していたのは立派です。3 年生の修学旅行は 2 泊 3 日で沖縄に行きました。首里城が焼けて 2 週間後のことだったので、門までしか

行けませんでした。これはこれで

良い思い出です。

定時制の最も大きなイベントである「生徒生活体験発表大会」には、学校代表として、4 年生の今井真由美さんが『お父さんへの感謝』という題で発表をしました。表彰には至りませんでした。本人も涙ぐむなど感動的な発表でした。私にとっても定時制の存在意義を確認できた大会となりました。

『ひだまりファーム』は、サツマイモやスイカ、玉ねぎなどが細々ながら収穫されています。ちゃんと伝統を引き継いでくれています。平常の授業などはまだまだスマホをさわる生徒もいて指導強化中ですが、中学校時代不登校傾向にあった生徒や他校を中退して入学してきた生徒が多い中、よくみんな登校しているなあとという感覚です。昨年度実施したアンケートでも『熱田高校定時制に入学して良かったと思う?』という質問に対して、8 割以上の生徒が肯定的な回答でした。

この春、今まで熱田定時を支えてくださった先生方が退職・転勤し、半分が入替わりました。先生方も生徒達もみんな頑張っており、これからも温かい目で応援よろしくお願ひします。

がんばれ熱高生

今回は 4 人の方に原稿を依頼しました。旧職員 1 名と OB 3 名です。

OB の渡辺宜嗣さん(18 回生)は、いつもテレビに出演されているので知っている人も多いと思います。テレビ朝日のアナウンサーとして、『朝まで生テレビ』でジャーナリスト田原総一朗氏と司会進行を行い、『スーパージチャンネル(名古屋ではアップ!の中)』ではメインキャスターを務めてみます。

木村隆秀さん(19 回生)は、衆議院議員を退任した後、幅広い人脈を生かし活躍しています。同窓会役員として、よく小・中・高校の入学式や卒業式などの式典に参列されます。

田中和枝さん(11 回生)は、筆者と同期生であり、彼女の文を読むと高校時代を思い出します。当時昼食時には映画音楽が流れ、エリアリカザン監督の代表作『エデンの東』や主演ジュームズ・ディーンが話題になりました。

大竹由紀子(吉村)先生は、私達のマドンナではなかったでしょうか。若い先生に対して、理系クラスの男達は、いつも何かたわいもないいたずらを考えていました。「経済学は数学が大切」といわれると、ある生徒が黒板に数学の入試問題を書き、先生に解かせる。先生は授業ではなく数学の問題を解く。解答が出ると「わあ!」と喚声が上がります、バラバラだったクラスが何か一つにまとまり、一体感がみなぎります。こんな光景が目には浮かんだ。

母校のような熱田高校

大竹由紀子先生 (旧姓 吉村)

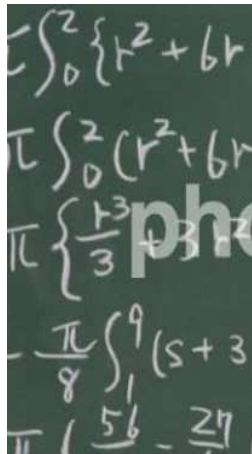
私は昭和 40 年、11 月 13 日生の高 3 「政治経済」・高 2 「倫理社会」を担当しました。

1940 年、11 月 13 日生の高 3 「政治経済」・高 2 「倫理社会」を担当しました。

教師になる夢を実現した私は 22 歳の新米先生。生徒とは弟妹の年齢差。熱い想いで教壇に立ちました。

大学の講義そのままの経済原論やアダム・スミス論を板書し、ガリ版刷りの憲法条文テストをし、六法全書を持ち込み可で半紙(今の A3 紙)1 枚に労働三法の記述を求め、ベト

ナム戦争についてダイベートもしました。受験科目でないからと授業をボイコットした生徒には、容赦なく赤座布団・・・若さ故か? 妥協はしませんでした。当時の一学年の生徒数は六百人余、答案用紙を持ち帰り、徹夜で採点をしました。手も足も出ないと「ゆきだるま」の絵を書いた珍答案もありましたが、筆跡を見るとその生徒の顔が浮かび、文章の起承転結で習熟度が図れました。文化祭でも、体育祭でも、思いっきり生徒たちと遊べるほど現場には「ゆとり」があり、私は、「人間としての心を伝えたい」と一生懸命だったように思います。



校務分掌は教務。職員室では、教

頭先生の隣の席で、教育技術は未熟であったので、よく上司に叱られました。が、学生気分の抜けない私にとっては、充実した学校生活でした。

出産し退職後は専業主婦。子育てをする中で、私は鳴海小学校 PTA、南山中・高・大学の同窓会に関わり、社会教育審議会(名古屋市)の委員



藍綬褒章 (行政相談功勞) 受章日 (H. 27. 5. 15)

をし、総務省の行政相談委員を委嘱され、東欧電力事情視察団の一員となったことがきっかけで、『フォーラム・エネルギーを考える』(代表・神津カンナ氏)のメンバーとなり、緑区地域交通安全活動推進委員(公安委員会)や、ナゴヤ港活性化検討委員会(国交省)etc. をしてきました。

好奇心を追うに、このように 40 年以上社会活動に携わっていますがそれらの活動の各局面で、不思議なことに、今や各界の要職に就いている多くの熱高生 OB たちに巡り会ってきています。出藍の誉れのそんな教え子たちと 50 数年余の今でも交流が続いていますが、それはとても嬉しく誇らしいことです。ただ現在はコロナ禍の真ただ中、今後は、オンライン教育が進み、教師と教え子の関係も、私たちの世代とは違った触れ合い方になるでしょう。

血気盛んな僅か 3 年間の奉職でしたが、熱田高校は私にとって、いまでは母校のようなあたたかい存在となっています。

コロナの時代の人間力

18 回生 渡辺宜嗣



今年が始まった時、2020年がこのような年になる事を誰が想像できたでしょうか。華やかな「東京五輪イヤー」として日本中が沸き、海外からの観光客で景気も活況を呈するはずでした。新型コロナウイルスの感染拡大は、社会構造を大きく変えてしまい、私達の生活も変化を余儀なくされています。

熱高生の皆さんは、今どのような気持ちで高校生活を送っていますか？ 夏の甲子園大会が中止になったというニュースを速報で伝えた日は、番組のスタジオで選手達を頭に浮かべ「高い目標を掲げ一生懸命打ち込んできたのにほんとうに悔しいと思う。きれいな事を言うつもりはないけれどこれも人生です。この様な時こそ目線を上げて前を向きましょう！」と呼びかけずにはいられませんでした。

高校野球だけではありません。あらゆるスポーツ分野で、これまで積み重ねてきた技と才能を表現する機会が失われてしまった事や、高3生の皆さんにとっては、進学について

も就職についても、先行きに様々な不安と葛藤を抱えていることでしょうか。そんな今だからこそ、大切なものは何なのでしょう。

私達が生きている社会には、高度で複雑に絡み合う情報があふれています。私が高校生だった頃など比較の対象ではありません。日々もたらされるネットからの情報やTVやラジオからのニュース・新聞雑誌の記事、そしてSNSを通じて入ってくる

膨大な量の情報・噂話など、これを全て自分自身がどう処理するかが、問われているのです。情報を多角的に取り込む事は、物事を考える上でとても大切です。しかし、情報に振りまわされてそれが本物かわからなくなってしまう時、人は迷い不安な気持ちが増幅されてしまいます。コロナの時代に様々なデマが拡散されたのはその典型的な例です。嘘や偽りのない情報を正確に見分ける力、正しく理解・分析し活用する力、そしてコミュニケーションとして使う能力。発信する側に回った時は、人を傷つけることがないかを感じる力、全て皆さんの人間力にかかっているのです。『人間力』が混沌とした情報をコントロールできるのです。謙虚な気持ちを持つた上でのチャレンジ精神。思いやりのある豊かな人間性を持つ素敵な人に成長して下さい。

あらためて言います。「目線を上げて前を向こう！」人生必ず良い事が起きるはずですよ。熱高生に向けたエールを送る機会をいただき光栄です。私もまだまだ頑張ります。

(テレビ朝日)

ニュースキャスター)

同窓生の皆様に感謝

19 回生 木村 隆秀



四半世紀に亘った政治活動の幕を閉じ10年が経過しようとしています。家族はもちろんのこと多くの方々のお力添えとお支えを頂き活動を続けることができました。特に、同窓生の方々の力強いご支援が大変有難く、ここに厚くお礼申し上げます。

私の政治活動の始まりは、後に衆議院議長を務められた河野洋平先生の秘書になるための上京でした。「日本人の多くがサラリーマン生活を送っている。まず、サラリーマンを経験して組織を学びなさい。」との先生のお言葉で、一年強の僅かな期間ではありましたが、サラリーマン生活を送ることになりました。後に秘書となり、代議士の代理で役人の方と面会した折に、会社時との対応の違いを痛感し、若い秘書が錯覚しないようにサラリーマンの経験を積ませて頂いたのだと分かりました。

その後、議員会館で秘書生活を送り始めた矢先に父が急逝し、昭和58年の県議会議員選挙に出馬することになりました。



県議会で文教委員長をしている時に、母校の旧体育館の取り壊しとその跡地の整備に携わることができ、母校へ僅かな恩返しができたのではないかと思っています。

平成 8 年には、新しい小選挙区制度の下で行われた総選挙に出馬することになりました。十有余年の代議士生活で、防衛庁の『省』昇格に立ち会うことができ、初代防衛副大臣を務めたことが最も印象に残っています。自衛隊員の『危機に臨んでは我が身を省みることなく身命を賭して活動をする』ことを目の当たりにし、文民統制下における政治の大切さを学びました。



しかし、最近の海外での活動については憂慮しております。政治家に

は視野を広く持ち、私たちの国を誤らないように導いて欲しいと願っております。

終わりに、間もなく創立 70 年を迎える母校が、同窓生や地域の方々の力の結集で、県下でも有数の高等学校として発展することを祈念しております。

(元衆議院議員・初代防衛副大臣)

絵日記、今までとこれからと

11 回生 田中和枝

(旧姓 竹内)



今日は雲一つない五月晴れ。毎年、季節は巡ってきます。この春に熱田高校を卒業された方々には改めてお祝いを申し上げます。卒業から早 2 カ月、この先に広がる未来に向けての期待と、又まさしく新型ウイルスの災禍の最中でもあり、不安の入り混じった複雑な心境とあります。この先は特に健康に気をつけて、学習・仕事を前に進めていってください。振返って、この令和 2 年 3 月の終わ

りから 5 月までの期間は、「この先いつまでも記憶に残る「失われたとき」となることでしょう。緊急事態宣言の解禁の報道があっても、もとの生

活に戻るのには容易ではなさそうです。これからの「新しい生活様式」の制約の下で、自分や自分を取り巻く社会の変化の中で求められる生き方や、今まで脈々と続いてきたあるべき姿も変わってしまうかもしれません。また、若い時にやろうと思っても、長い歳月をかけて諦めなければならぬことがいくつもあります。こんなときにあつて、若い皆さんにはしっかりと自分を軸にして、未知の方向へも舵を切れる世界を切り拓いていってほしいものです。

最近、高校生の頃に見た映画の、古い詩を思い出しました。それはイギリス・ロマン主義詩人ワーズワース(1790~1850)のもので、『エリアカザン監督の映画『草原の輝き(1961)』



の中で引用されたものです。この詩は未だに覚えていて、改めてこの詩の美しさ、力強さに心を打たれます。

Though nothing can bring back
the hour of splendor in the
grass

草原が輝いていたあの頃を

of glory in the flower

花が満開だったあの頃を

we will grieve not

それでも嘆くのは止めよう

Rather find strength in what

remains behind

むしろ力を見つけよう、存続する

ものの中に

私は音楽・絵画・文学など、恩師

に恵まれて若い頃から楽しんできました。私の人生の彩であり、救いでもありました。10 歳の頃から続いている絵画の制作はまさしくライフワークになりました。

ここに掲載したパステル作品は『窓辺』。

生花の華やかさは失せて、枯れてしまってもなお、わずかな色合いを滲ませているドライフラワーが気に入って描きました。

(絵画教室講師)

同期会だより

毎年開催について

14回生 福島義広



私たちの同期会は還暦を迎えた平成22年(2010)に初回が開催され、以後も毎年継続し、

昨年11月10日には節目の第10回を開催しました。本会が継続開催されてきたのは同期生の総意と準備委員会(事務局・クラス幹事)の協力体制によるものです。回を重ねる中で参加者数は、当初百名を越えたものが、近年は70名程度となりました。しかし会場・時間帯・喫食方式やゲーム等々の見直し、工夫をしながら毎年開催という形が定着していききました。前述の第10回は東京第一ホテルで昼間開催(ランチ宴会・二次会)、66名の参加者が賑やかに楽しい時間を過ごしました。また、



今後の開催についても改めて同期生の要望と総意を確認し、従来の毎年開催という基本方針を継続する事となりました。

今年の同期会(第11回)は、14回生の皆さんが無事に70歳を迎えられたという意味で「古希の祝」を兼ね、11月末に開催予定でした。しかしながらコロナ問題が終息しない中では困難であると判断し、来年へ延期する事としました。

今は一日も早く安心、安全な日常が戻る様、願っています。同窓会の皆様も時節柄、どうかお体を大切にされますように。

還暦を迎えて

23回生 青木宏憲



私が母校に赴任したのが平成22年4月。それから7年がたち、いよいよ定年退職・還暦の年を迎えた。残念ながら私共23回生は昭和53年(1978年)3月に卒業して以来一度も同期会を開催することがなく、この還暦という一つの節目の年を逃すとさらに開催は難しくなると思われた。当然一人では開催の準備を進めていくには困難極まりなく、3月下旬の第1回幹事会は4人で行

った。メンバーは旧109のクラスメイトである。それから、他のクラスに連絡を取り合い、瞬く間に十数名の幹事会が結成された。まずは、いっどこで開催するかから始まり、次に住所確認と調査へと作業を分担して進められた。同期会開催の日時と場所は平成30年11月3日の名鉄ニューグランドホテルに決まり、準備は着々と進められた。私事ではあったが前日の11月2日に高校サッカー選手権の準々決勝があり、同期会でいい報告ができればと願っていた(いい報告が出来ました)。企画の趣旨は、還暦という人生の節目に、再会と出会い、友情と感謝の場とするということとまとまった。当日までに7カ月余りもあると思っ取りかかった準備も、あつという間に過ぎて当日を迎えた。幸いにも6名の恩師の先生方にも出席していただけたことになった。1組小室祐子先生、3組八谷芳樹先生、4組和久田茂先生、6組堀崎嘉明先生、7組森本裕康先生、10市川次郎先生です。

3年時のクラスごとに着席して開始を待。会は悔しくも他界した同期生への黙祷で始まった。代表幹事でもある私のあいさつ、そして恩師の紹介で皆は40数年前に一気にタイムスリップした。開始まもなく、席を移動しながら何十年ぶりに再会

して湧き上がる歓声をよそに、1年次からクラス単位での写真撮影がはじまった。ステージ中央に恩師の先生を囲みワンショット。次に部活動・・・一番盛り上がったのは、司会者が「森本先生に〇〇されたひとステージへ」といった時だった。かつての男子およそ20名がステージに上がり、森本先生を囲んで記念撮影を行った。MCの松岡佳典君、水谷二三枝さんの絶妙な進行で、あつという間に2時間が経ち会も終盤を迎えた。最後に全体での写真撮影と校歌斉唱で還暦同期会は幕を閉じた。なかなか開催に至らなかったことを皆様にお詫びをし、開催にあたって惜しみない協力をしてくれた同期生に多大なる感謝をして次回の開催を企画できたらと思います。ありがとうございました。





令和2年度 役員一覧

Table listing school officers and staff for the 2020 fiscal year, including roles like 会長 (President), 顧問 (Advisor), 副会長 (Vice President), 事務局長 (Secretary), 書記 (Secretary), 会計 (Accountant), 監査 (Auditor), and 学校幹事 (School Executive).

Table listing staff members categorized by their status: 転入職員 (Transfer Staff), 転入職員(敬称略・転入元) (Transfer Staff with abbreviated titles and origin), 退職者・転出者及び転入者 (Retirees, Transfers, and Transfers), and 転出職員(敬称略・転出先) (Transfer Staff with abbreviated titles and destination).

令和元年度 愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告

(平成31年3月23日～令和2年3月25日まで)

Income Statement (収入の部) showing financial details for the 2019 fiscal year, including items like 前年度繰越金 (Carryover from previous year), 入会金 (Membership fees), and 名古屋銀行・ゆうちょ普通預金 (Bank interest).

Expenditure Statement (支出の部) showing financial details for the 2019 fiscal year, including items like 会員データ管理費 (Member data management fees), 寄贈 (Donations), 助成金 (Grants), and 雑費 (Miscellaneous expenses).

次年度繰越金 収入-支出 6,377,964

令和2年3月25日、上記のとおり会計報告をします。 会計代表 神谷和雄

執行担当者 万前秀男 青木宏憲

令和元年度会計における証拠書類並びに会計帳簿を精査したところ、正確に処理されていることを認めます。

令和2年3月30日

監査代表 木村隆秀

あとがき
私達は新型コロナウイルスが猛威を振う今、不安な生活を送らざるを得ない。感染症のパンデミックは、14世紀の黒死病(ペスト)で欧州の少なくとも全人口の3分の1が死亡したといわれ、聖職者でさえ死の前には無力であった。人間は初めて死に直面し、従来の価値観を大きく変えなければならなかった。世界の一体化の始まりとなった大航海時代のヨーロッパ人が、天然痘と引き換えに持ち帰った梅毒は、わずかに20年で世界に広がった。第一次世界大戦中のスペイン風邪は、世界全体で2千万人の死者を出し、戦死者をも上回った。人(労働力)・モノ(商品)、カネ(資本)の移動・交流が活発化しグローバル化が進む今、コロナウイルスが数カ月で世界を覆い、その戦いは歴史の一ページを刻んでいる。私たちは今、そんな時代を生きている。

教職員の異動

事務局たより

題字 初代書道教諭 名郷紫山